

2021 年度事業及び活動報告

1. 認定特定非営利活動に係わる事業報告

新型コロナウイルス感染は2020年1月に最初の感染者がでてから2年以上続いています。まん延防止の期間は終わりましたが、まだ安心できるような状況ではありません。

このような中で、ロシアによるウクライナへの侵攻が始まりました。ニュースで子どもや女性が犠牲になっている様子を見るたびに胸が痛みます。戦争は絶対にあってはならないのです。ウクライナの方々に早く普通の生活が戻ってくることを祈るばかりです。

チェルノブイリが標的にされ、火災が起きたことを聞き戦慄が走りました。福島を事故を思い出すと共に、もしかしたら放射能が世界に広がるのではないかと、現状がわからないだけにどうなっていくのか不安が広がります。この戦争は一地域のことではなく、地球の存続につながっていく事と思います。

平和を求め活動を進めている私たちは、戦争や紛争に反対する声を上げ続けなければならないと改めて思いました。

新型コロナウイルスのオミクロン株まで感染拡大し多くの活動が中止になりました。毎年行っている「廃油を使ったろうそく作り」の出前講座は、時期を変えて依頼があった1校だけの実施となりました。一方新たな動きもありました。ららぽーと広場でのイベント（EBINA Local Marche）に参加できたことです。西口利用者にWE ショップの存在を知っていただく機会となったことはこのような状況の中での喜びでもありました。

今年もチラシボランティア25人の参加で隔月2,800枚、その他の月は理事を中心としたボランティアで1,000枚配布しました。また、読売新聞中央販売店との出会いで、年間チラシやイベントチラシを5,000枚ほど折り込みで入れていただきました。おかげで、新規の提供者が昨年より76人も増えました。

ショップの売り上げは感染拡大の影響もあり前半は厳しいものがありました。しかし、後半になりスタッフや理事で色々な企画を考え対応し、少しずつ目標額に近づきました。

来店者やボランティア、スタッフが安心して買い物や活動ができるように体温、消毒一体型のサーマルカメラ、空気清浄機エアドッグを購入しました。思い切って購入できたのはリコー（株）のCSR 団体であるリコー社会貢献クラブ・FreeWill から寄付を頂いたおかげでした。厳しい一年ではありましたが、今年度も大勢の方とのつながりができました。

事業内容及び活動内容報告

1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

(1) 事業報告

① 市民の皆様からの寄付提供品（不要になった衣類、日用品など）を販売し、スタッフと多くのボランティアで WE ショップを運営しました。

② 安定したショップ業務を展開するため、毎月スタッフ会議を開催し、さまざまな課題について話し合いました。セールやフェアなどのイベントを企画し、理事会に提案し、以下のように実行しました。

2021 年度 ショップ企画

実施月	企画内容	売上金額
5/12～15	シークレットセール	186,619 円
7/7～9	夏の半額セール	102,216 円
10/14～16	シークレットセール	115,190 円
10/25～28	和のものフェア	383,803 円
1/6～8	初春まつり	85,660 円
2/14～16	20 周年記念感謝祭	172,878 円
	合計	1,046,366 円

フェアなどのイベントを開催することで、多くのお客様に足を運んでいただくことが出来ました。

開催後には反省会を実施し、次年度へ向けて様々な意見交換を行いました。

店内の環境整備として、大小のワゴンを購入し、商品をより見やすくしました。また、『お客様には新感覚で、ボランティアには作業しやすく』を目的とし、店内及びバックヤードの大幅な配置変更を行い、好評でした。

新型コロナウイルス感染対策として、日々の消毒や検温は昨年度に引き続き行ってきましたが、人手不足の補うために自動検温器の購入。安心して買い物やボランティア活動ができるようエアドッグを購入しました。リコー（株）からの寄付金や神奈川県補助金を活用しました。

③ ボランティアに研修を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で実施する事ができませんでした。

スタッフ研修として、WE ショップ厚木に 1 日研修として受け入れていただき、様々な経験と情報を得ることができ、売り上げ向上のヒントを得ることができました。

④ ボランティアとの情報共有として、今年度より SNS を利用することとしました。普段ボランティアに参加していない方も情報を共有することができ、ショップ運営をみんなで行っているという意識をもってもらう良い機会となりました。

⑤ チャリティショップであることを、様々なツールを利用して発信できました。Facebook ページと Twitter を利用し、イベントやキャンペーンについて情報を発信し、WE ショップで買い物することの意味を伝える努力をしました。

⑥ ららぽーと海老名主催のイベントに参加しました。ショップを知らない多くの方に知ってもらおう良い機会となりました。

⑦ リメイクチーム活動を支援しました。

“WE21 ジャパン海老名 リメイクボランティアに関する申し合わせ”を基にリメイク作品制作及び販売を支援しました。20 周年感謝祭ではリメイク作品も半額にし、より多くの方に手に取ってもらうことができました。その他、課題が出たときはリメイクチームの会議やスタッフ会議で意見交換を行いました。

⑧ ユース・ボランティアと職場体験学習を受け入れる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は中止となりました。

(2) 活動報告

① 企業組合ワーコレ・キャリアを通じエコものセンターを活用しました。季節外の寄付提供品をストックし、有効な寄付提供品の管理、活用に努めました。

② 環境問題に貢献しているナカノ（株）と連携して、衣類に関しては最後までリサイクル化に努めました。 月 2 回 3,577kg/年間
2021 年 4 月から 2022 年 3 月までの 12 ヶ月間

*販売品としてショップに出せなかった木綿類は、地域 NPO 法人の福祉施設へ提供することで、有効活用につながることが出来ました。

内 容	リユース・リサイクル事業（WE ショップえびな運営）
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目 14 番 46 号 チェリーコート海老名 103
従事者人数	スタッフ 3 人、ボランティア総人数 46 人
受益対象者	一般市民
収 入 額	5,480,631 円
支 出 額	5,413,298 円

2) アジアなどにおける市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を通じて支援する事業（民際支援事業）

(1) 事業報告

- ① 支援先の人々の課題解決に向けて、共に考え、共に育ち、共に生きる社会の創造を目指し、海外支援の助成をしました。
 - ・昨年度に続き、コロナ禍が収まらない状況下でどのような形で支援先へ支援金の捻出できるか考えました。支援先は引き続き JVC(日本国際ボランティアセンター)・パレスチナ・ガザ地区の子どもの栄養失調予防事業、新しい支援先として一般社団法人 平和村ユナイテッド・平和教育活動を選択しました。期間を設けて店内募金と支援の日を設定し、当日の売上金を支援金にしました。期間中は店内掲示の工夫、支援先のチラシを作成するなど周知に努めました。またスタッフの計らいでショップのセールにマッチングできたことで大きな成果を得ることができました。
 - ・6月～8月 JVC(日本国際ボランティアセンター)
パレスチナ・ガザ地区 子どもの栄養失調予防事業
 - ・9月～10月 貧困なくそうキャンペーン期間中
一般社団法人 平和村ユナイテッド 平和教育活動
- ② 東日本大震災復興支援の助成をしました。

1月～3月末まで3.11 忘れないキャンペーンを行いました。募金箱の設置と3月10日、11日の2日間の売上、寄付金などを支援金としました。店頭にはポスターを掲げ当日来店していただけるよう呼びかけをしました。当日は「忘れないように手帳に書いておいたのよ」と応援して下さるお客様の声やその日に合わせて送金して下さった方など、温かい応援を受け活力を頂きました。

いわき放射能市民想定室・たらちね

- ・たらちねクリニックでは震災時18歳以下だった子どもを対象に画像診断と触診による甲状腺検診を無料で行っています。また、子どもドッグ手帳を作り、たらちね子どもドッグを受けた子どもたち（事故当時18歳以下）全員に配布し、健康管理をしています。
- ・2017年から心のケア事業に着手し、あそびの力で子どもの心を支える活動を行っています。

- ③ 民際支援助成費 433,715円を助成しました。（指定寄付金、募金を含む）

2021年度WE21ジャパン海老名支援先・支援金額（店頭募金・寄付金を含む）一覧

支援国	支援先	プロジェクト名	金額	実施年数
パレスチナ	JVC パレスチナの活動支援	ガザ:こどもの栄養失調予防事業	70,215 円 (内募金 9,424 円)	11 年目
アフガニスタン	一般社団法人 平和村ユナイテッド	貧困なくそうキャンペーン 平和教育活動	105,004 円 (内募金 14,222 円)	15 年目
フィリピン	IYAMAN Association	クリスマス 「レインボーキャンペーン」	10,582 円(募金)	13 年目
シリア、イラク 日本	ジムネット	チョコ募金	42,725 円 (募金)	8 年目
日本	福島県いわき市 いわき放射能市民 測定室・たらちね	食材・土壌・身体の放射能 測定や福島の子どもを 保養プロジェクト	147,189 円 (内指定寄付 33,000 円 募金 14,189 円含む)	8 年目
		計	375,715 円	

緊急支援

支援国	緊急支援団体	支援内容	支援金額
ウクライナ	ADRA JYPAN	人道支援	58,000 円

注記: ウクライナ支援指定寄付金 28,000 円を含む

④ WEトレード品の取り組みをしました。

ジンジャーパウダー、気仙沼市・ムラカミの海産物に加えて今年度は共育部会が中心になってカレー、チョコレート、ナッツなどのフェアトレードの品物を増やしました。お客様にフェアトレードの説明をすることで関心を持っていただけるよう努力をしました。

WEトレード仕入（2021年4月～2022年3月）

国	WEトレード品	送金先	仕入金額
フィリピン	ジンジャーパウダー	ウバパス, ダイヨコン ランダバ	52,585 円
パレスチナ	アシーラ石鹸	フレンズオブアシーラ	0 円
フィリピン	ジンジャークッキー	ウバパス, ダイヨコン ランダバ	54,160 円
日本	海産物	(有)ムラカミ (宮城県)	423,960 円

日本	フェアトレード品	百屋・珈琲	34,321 円
日本	フェアトレード品	第3世界ショップ	42,239 円
		計	607,265 円

- ⑤ 支援部会は情報交換を含めた共育活動を行い、支援体制を整えていきます。コロナ禍でしたが、海老名市の子ども食堂など、支援先を考える上で必要な情報収集を目的として社会福祉協議会と話し合いを持つことができました。

支援先を見つけることはできませんでしたが、社会福祉協議会が進めている活動を知るとともに、私たちが共に歩むために何かできることはないか探る手がかりは掴むことができました。今後につなげていけるように努力します。

- 支援先、支援金額を理事会に提案しました。

今年度の海外支援は2011年から継続している JVC（日本国際ボランティアセンター）パレスチナ・ガザ地区・子どもの栄養失調予防活動と新しい支援先として、一般社団法人 平和村ユナイテッドのアフガニスタンにおける平和教育活動にしました。

- 緊急支援と募金活動をしました。

- ・ 3月12日から店頭募金活動と緊急支援をしました。

ロシアによるウクライナ侵攻によって、市民、特に女性や小さな子どもたちが身体や心の傷を負っている現状は悲しく、辛く何も出来ないもどかしさでいっぱいでした。私たちにはお店がある。そこでお客様に募金の呼びかけることにしました。

支援先として国際 NGO アドラジャパンに送金します。

内容: ウクライナ国内また周辺5か国で、温かい食事や横になれる場所、水、食糧、衣類、モバイルバッテリー、SIMカード、休憩所、移動手段や燃料の提供、また心理的ケアなど

- 支援部会員が一丸となって支援掲示コーナーの充実をめめました。

支援先の担当を決めて、各人が工夫しながらパネルを作りました。

(2) 活動報告

- ① WE 21 ジャパン海老名の共育部会と合同で開催してきた講座などは開催できませんでした。

- コロナ禍で共育部会と行っていた WE 講座の開催はできませんでしたが、JVC（日本国際ボランティアセンター）の現地スタッフから、理事のみでしたがパレスチナの現状を直接聞くことができました。

また WE 21 ジャパン及び WE 21 ジャパングループ主催の講座、研修には ZOOM で参加できました。

内容	民際支援事業
日時	通年
場所	海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート海老名103内
従事者人数	会員4人
受益対象者	海外支援先の人々、東日本大震災被災地者及び一般市民
収入額	855,496円
支出額	1,042,034円

3) 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（共育）

(1) 事業報告

WE21 ジャパン海老名の各事業を推進していくため、また市民の参加を得るため年2回の「WE講座」を開催予定でした。しかし、今年度も新型コロナウイルスの影響で大勢の人が集まるイベントとなる講座は開催を自粛しました。

新しい試みとしてショップで2月15日～3月15日まで「フェアトレードマルシェ」を開催しました。フェアトレードとは搾取などなく、公正に取引することで、作っている人の生活や地域の自然環境を守るしくみです。当然ながら無理な低価格で販売できませんが、作り手の幸せを願い取り組みました。

(2) 活動

- ① 小学校の体験学習・遊びの場提供を目的に開催されている海老名市各小学校における学校応援団主催の「えびなっ子スクール」に参加しました。

夏季のスクールは中止となりましたが依頼を受け「廃油を使用したろうそくづくり」の出前講座で参加しました。

・10月14日（木） 東柏ヶ谷小学校（3年生）

参加：児童 17名 ボランティア 8名

*出来上がったろうそくは見て楽しむだけでなく、災害時の灯りや多少の火力になる事も実験を通して伝えました。器はWEショップえびなで販売できなかった物を利用しました。アンケートでは楽しかった。また参加したい。との意見が多くありました。

地域福祉関係からの出前講座の依頼もありましたが直前にコロナの影響で残念ながら中止となってしまいました。

- ② 海老名市社会福祉協議会主催のユース・ボランティアをショップに受け入れる予定も中止となりました。しかし、高校からの依頼でボランティアの受け入れをしました。

内 容	共育事業
日 時	通年
場 所	海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート103
従事者人数	ボランティア1人、会員3人
受益対象者	一般市民
収入額	3,000円
支出額	2,200円

4) この法人の事業の広報普及を図る事業（広報事業）

(1) 事業報告

WE21 ジャパン海老名の支援事業及び運動を紹介し、支援を広げていくために「WE21 ジャパン海老名ニュース」の発行や、その他の広報手段を取り入れ普及に努めました。

毎月地域に配るチラシは見やすいチラシ作りに努めました。また新聞代理店の好意で折り込みチラシを入れて頂いたことは、新規のお客様や寄付の増加に繋がりました。海老名市発行の「資源とごみの分け方・出し方」に掲載した広告を見て問い合わせを下さる方も多くありました。

① WE21 ジャパン海老名ニュースを年2回発行しました。

Vol 68 発行9月30日（2面）カラー700部

内容

20周年を迎えて

第19回通常総会について

貧困なくそうキャンペーン

フードドライブ実施

パレスチナ・ガザ地区への支援金報告他

VOL 69 発行2022年1月31日（2面）カラー700部

内容

廃油からローソク作り

WE21 ジャパン海老名の4つの事業

② 毎月部会を行い、WE21 ジャパン海老名ニュースやチラシの内容を検討し、理事会に提案しました。

③ WE21 ジャパン海老名の活動紹介やショップの場所や各種イベントを市民に知らせるカラーチラシを作成しました。今年度もボランティア及び有志の

チラシ配布ボランティアと共に毎月チラシ配布を行いました。

・海老名市内	23,300 枚
・その他店頭	1,600 枚
・年間チラシ	20,000 枚
・支援チラシ	700 枚
チラシ総合計	46,600 枚

- ④ ショップイベント毎にポスターなどを作成しました。またホームページ Facebook、Twitter 等のソーシャルメディアも積極的に取り入れ幅広い年齢層の方へのアピールにも努めました。
- ⑤ WE21 ジャパン海老名 20 周年記念誌発行に伴い、広報部会員 2 名が参加しました。
- ⑥ 昨年度支援した支援先情報を載せたチラシを作成しました。

内容 広報事業
日時 通年
場所 海老名市中央一丁目14番46号チェリーコート海老名103
従事者 会員5人
受益対象者 一般市民
支出額 78,942 円

5) その他、第3条の目的達成に必要な事業（組織活動）

① 理事会を毎月開催し、総会方針に基づき事業計画を執行すると共に新しい課題については必要に応じて討議決定し執行しました。

② WE21 ジャパンと「WE21 ジャパンの目的を達するための合意書」を交わし、定款の目的を達成するために組織活動の充実を図りました。また「物流事業費・エコモのセンター経費」の委託費、商標使用料を支払いました。またストック場所が狭く途中で再賃借をしたため費用が発生しました。来年度は着物のストックもあり、最初から1.5にすることが必要です。

配送委託費 106,653 円、エコモのセンター賃借費 186,433 円
エコモのセンター維持管理費 49,248 円、WE21 商標使用料 120,000 円
合計 462,334 円（年間）

③ WE21 ジャパン海老名の会員へ定期的に理事会議事録と海老名ニュース等の機関紙を送付し、情報の共有化を図りました。10月、2月に会員へニュースと共に議事録を送付しました。ニュース作成が年2回になったため会員への情報共有が遅れてしまっているように感じました。会員へ活動参加は、コロナの影響もあり積極的には行いませんでした。（5月に総会議案書と議事録を送りました）

④ WE21 ジャパン海老名の活動に支援して下さる会員の目標を

・個人会員 100人 年会費 1,500円
団体会員 5団体 年会費 5,000円 合計105人としましたが、結果個人会員 98人 団体会員 5団体103人で目標には達しませんでした。

⑤ 20周年記念誌作成チームを発足し（6月）各部会から参加してもらい毎月1回会議を行い進めました。3月に完成し、会員及び関係者へ発送しました。

⑥ 今後WE21 ジャパン海老名は基本的なビジョンは確保しながらも時代が求めているものや地域に根ざし、色々な団体と連携交流しながら事業を模索したいということで新たな事業を考えるチーム（「希望」「常に前進」という花言葉をもつ『ガーベラ』と名付け同じく6月に発足し活動を開始しました。

⑦ 海老名市に対して、環境問題解決に向けての活動を行っていること、民際交流・支援を通し平和活動をしていることを以下のような話し合いを行いアピールしました。

8月29日に市役所で、市がコロナ禍の対策として中小企業向けの支援金を出すという情報からすぐに申請しましたが、中小企業法の中にNPO法人は対象外であるということを基本にしているという理由で認められませんでした。このことをきっかけに認定NPO法人WE21 ジャパン海老名を市がどのように捉えているかなどの話し合いを行いました。前向きな回答を得ることは難しかったのですが、

話し合うことの大切さは学ぶことができました

- ⑧ 地域における生活クラブ運動グループ海老名たすけあいユニットに代表メンバーを送り情報の共有化を図りました。
- ⑨ 市内中学校職場体験の生徒受け入れは、コロナ感染緊急事態宣言のため開催できませんでした。
- ⑩ 商店会活動はありませんでした。
リコー（株）の寄付を今年度も受けることができました。環境整備と、ショップ備品、20周年記念誌作成に活かしました。
海老名市商品券(えび～にゃ券)使用店舗として登録し、来店者増につなげました。
- ⑪ 海老名市が主催する、「えびな環境展」等に参加予定でしたが、コロナ感染緊急事態宣言のため参加はできませんでした。
- ⑫ 地域大型店（イオン海老名店）黄色いレシートキャンペーンは、昨年引き続き店内でのアピールはできませんでしたが、参加申し込みをし、BOX 設置参加はできています。
- ⑬ 伴走型小規模事業者支援推進事業の診断を受けた結果を活かして新たに作成した5カ年計画目標4年目ですが、コロナ感染緊急事態宣言の影響は今年度も続いており、厳しい経営状況は続いています。9月末の解除後は、徐々に売り上げも伸びてきています。様々なイベントを開催し売上増を図っています。

内 容	組 織 活 動
個人会費	129,000 円 (86 人)
団体会費	20,000 円 (4 団体)
寄 付	457,266 円
雑 収 益	29 円
収 入 合 計	606,295 円
支 出 額	701,630 円

*赤字部分はリユース・リサイクル推進事業より繰入

2021年度 復興支援・フェアトレード 期末在庫表(2022年3月31日現在)

フェアトレード 仕入先【 】

商品名	仕入額	在庫数	金額
しょうがパウダー	809	6	4,854
ジンジャークッキー80g	345	6	2,070
ジンジャークッキー50g	293	19	5,567
合計		31	12,491

フェアトレード 仕入先【百屋コーヒー】

商品名	仕入額	在庫数	金額
コーヒー	84	56	4,704
合計		56	4,704

フェアトレード 仕入先【第3世界ショップ】

商品名	仕入額	在庫数	金額
チョコレート(ミルク)	294	2	588
レトルトカレー(ポーク)	273	8	2,184
レトルトカレー(ひよこ豆)	241	4	964
レトルトカレー(キーマ)	273	7	1,911
レトルトカレー(チキン)	273	8	2,184
合計		29	7,831

復興支援 仕入先【(有)ムラカミ】

商品名	仕入額	在庫数	金額
焼のり	250	15	3,750
だし昆布	280	20	5,600
茎わかめ	200	4	800
おさしみわかめ	240	5	1,200
とろろ昆布	240	18	4,320
小さいわしロール	250	8	2,000
炙りいわし	250	10	2,500
ほたてのひもっこ	250	4	1,000
いりこ	240	14	3,360
ひじき	240	14	3,360
あおさのり	300	11	3,300
納豆昆布	240	5	1,200
焼黒ばらのり	240	7	1,680
ふかひれスープ	190	14	2,660
茶わんむし	190	14	2,660
合計		163	39,390

在庫合計

仕入取引先	在庫金額
	12,491
百屋コーヒー	4,704
第3世界ショップ	7,831
(有)ムラカミ	39,390
合計	64,416